

# 塾生による

## リレー・エッセイ (3) 地球温暖化防止活動



森 正弘  
(連塾4期生)

私が岡山県地球温暖化防止活動推進員になり2年が経ちました。2007年の秋に応募し翌年の1～3月に研修を受け、2008年度から活動推進員として、自然環境保全を中心に活動しています。また、「北庄棚田支援隊」「池田動物園ボランティアズ」や京山公民館ボランティアなどにも取り組んでいます。今回は、地球温暖化防止活動についての報告をしたいと思っております。

現在、岡山県には90名近い活動推進員がいて、それぞれが得意な分野で活動しています。主な活動は、①地球温暖化の現状及び地球温暖化対策の求めに応じ、地球温暖化対策を診断し、指導及び助言をする。②県や市町村などが実施する地球温暖化防止対策の推進に協力する。③県内の各種関係団体が行う地球温暖化防止に関する活動について、可能な限り協力する。④日常生活で地球温暖化防止に関する実践活動を行う、等々です。

理想は高いのですが、現実には結構難しいものです。日本では地球温暖化防止対策と言っていますが、本当はCO2ではなく、気候変動に関する対策であり、エネルギー・食料・水などの問題なのです。2008年度は、マイバッグ持参運動、緑のカーテン作り、キャンドルナイトでの普及啓発等に取り組み、2009年度には、全国都市緑化フェア里山センター10周年記念イベントなどにも参加しました。普段の生活では、私自身も1998年から4R(修理・削減・再使用・再生)を心がけています。今後もこれらの活動に、出来ることから地道に取り組んで参りたいと思っています。



キャンドルナイト

## 第5回「人づくり・地域づくりフォーラムin山口」の分科会で連塾の取組を発表!

今年で第5回目を迎える「人づくり・地域づくりフォーラムin山口」が、2月13日(土)～14日(日)、山口県セミナーパークにて開催されました。昨年に引き続き松畑理事長をはじめ、連塾から10名が参加しました。全国から約800名が参集し、地域活性化・地域創生を熱く語り合いました。

午後からの第6分科会では、角田みどり・連塾1期生が連塾を代表し、塾創設5年間の取組をパワーポイントを使用して発表しました。会場の一列目の席を陣取り、揃いの白い連塾ジャケットを着た皆さん方からの応援に



懇親会でステージに上がる連塾一行

夜は懇親会には260名の参加で大いに盛り上がり、連塾全員がステージに上がって、「岡山に連塾あり!」をアピール! 竹内弘海さんのギターで連塾テーマソング「つなぐ手と手」を歌って、拍手喝采を浴びました。

2日目の全体会総括で、指導講評の三浦清一郎先生が開口一番に連塾の「地域創生」を取り上げられ、全員に紹介していただきました。私達は大感激! 来年もぜひ大勢で参加いざしましよ!

特定非営利活動法人(NPO法人)

# 連塾ニュース

第3号

平成22年3月27日発行

(所在地: 〒700-0015 岡山市北区京山1-2-21 電話 086-251-4615)

編集担当 角田みどり・田口琢磨

## 連塾創設6周年目のこれからに向けて

理事長 松畑 熙

連塾創設5周年を記念して行われた「第1回地域創生フォーラム」も盛会のうちに終わることができ、これまでの連塾の諸活動の総括と課題設定を行うことができました。来年度からは第2クールに入り、充実期となるよう願っています。

地域主体による世界発信の「ローカル社会」の実現を目指して今後一層尽力し、「連」をキーワードとした本法人の活動



地域創生フォーラムのスタッフと松畑理事長

充実とともに他のまちづくりとのネットワークづくりを進めたいものです。連塾の活動について

今までのやり方を抜本的に見直し、新たな活動方針によって進めたいと思っています。連塾開設以来、最初の年が基礎コース、2年目が実践コースの2年課程で、各期別にそれぞれ別々のカリキュラムに基づいて毎月の例会を行ってきました。この運営形態の問題点として、各期間の相互交流による学びと連帯が不十分になりやすいことを挙げる事ができます。この問題点解消のため、来期からは、毎月の例会は連塾全期生が一堂に会して学びと相互交流を深めることにいたします。ただし入塾後2年を終えて修了するという2年課程制は今後も続けていきます。

健塾については、すでに全期生が同一時間帯に研修を行う形態で進めていますので、今まで通りの形で更なる充実を目指します。連塾、健塾それぞれの内部連帯を深めていくとともに、連塾・健塾の相互交流・協働を推進していきたいと思っております。今後一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 塾生ニュース

連塾1期生・田口琢磨さんがラーメン店をオープン!



### 福ちゃんの里ラーメン

岡山市北区東山内の地に、連塾1期生の田口さんが「福ちゃんの里ラーメン」店を開店されました。お店では、田口さん自らが栽培した小麦を使用して作られたオリジナルでコクのある美味しい麺がいただけます。また、地元で採れた野菜も多く使用しています。ラーメンの他にも、餃子・唐揚げもありますので、ぜひお出かけください!



田口ご夫妻がお待ちしています!

## 事務局から

### 退任のご挨拶

連塾創設以来、ずっと続けて参りました事務局長の役職を、この度一身上の都合により、退任させていただきますこととなりました。松畑理事長、塾生の皆様方には、公私にわたり大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。様々な事業を皆様とともに乗り越えた体験は、今後の私の人生の大きな宝物になると思っております。この経験を生かし、さらなる挑戦を続けて参ります。本当にありがとうございました。後任は、連塾1期生の尾藤寿実さんが快くお引き受けくださいましたので、これまで以上に協力をお願い申し上げます。(佐藤 大介)

## 編集後記

\* 第3号を発行できました!

「連塾ニュース」も皆様方のご協力により第3号を発行することができました。今号は、「第1回地域創生フォーラム」を2面と3面に頁を割って特集しました。4月から、連塾も6周年目に入ります。今後も、塾生の皆様に喜ばれる連塾ニュースにしたいと思っています。楽しい話題提供をよろしくお願いいたします。(角田みどり・田口琢磨)

## すばらしかった講演会2題



106才の光信松江さん

1月31日(日) 午後1時より、コミュニティ・プラザ連塾において、「健塾」の例会として公開講演会の講師に106才の光信松江さんをお招きして、長寿の秘訣をはじめ、平素の生活の様子をお話しいただきました。光信さんは、健塾生であり、「百楽塾」を主宰されている景山詳弘先生のご義母様です。当日は、日頃お世話をされている先生の奥様もお見えになり、実の娘から見た光信さんの素顔についても語っていただきました。30年前に胃の全摘出、昨年に胆石手術と大手術を乗り越えられた回復に向けての強い意志と並々ならぬ努力は、私達も見習うべきものでありました。「長寿の秘訣は?」の質問に対し、「何でもおいしく食べること」「山歩きをして鍛えた身体」と、凜として答えられた光信さんは、95才を過ぎて始められた絵手紙を最高の楽しみにしておられました。

高齢化社会を迎えた日本、自立して生き抜く健康年齢も高くなっている今日、長寿のためには、何よりも本人自身の強い生命力と周囲の温かい家族愛が必要であると実感できたご講演でした。光信さんのさらなるご長寿を心からお祈りしています。



民宿「わら」経営 船越康弘さん

2月28日(日) 午後4時より、連塾特別講演会として、全国的にも評価の高い高梁市の「百姓屋敷わら」を経営しておられる船越康弘さんをコミュニティ・プラザ連塾にお迎えし、日本とニュージーランドの両国から多くのファンをもつ自然食料理人としての生き方を熱く語っていただきました。

まず「癌は絶対に治る!」「食べ物を食べると運命が変わる」という強烈なメッセージから始まり、ユーモア溢れた語り口の船越節に引き込まれました。「念ずれば、夢は必ず実現する」「どんな絶望の淵においても決して諦めない」という超プラス思考を身をもって体現されたお話には説得力があり、馬鹿にされ、いじめられることの多かった幼少期から、こだわりの料理人へと成長していく過程での人生訓は心に響くものがありました。ニュージーランドの永住権を得るために英語の特訓をされたお話は抱腹絶倒でした。

これから玄米菜食の本論に入るところで、時間切れとなり、次回に期待をつないで、船越さんの益々のご活躍を心からお祈りしています。その後、参加した皆さんと小山食堂の自然食弁当を賞味しました。

# 100名が参加した「第1回 地域創生フォーラム」の開催

平成21年12月6日(日)

連塾では開設5周年を記念して、去る12月6日(日)午前10時～午後4時30分、岡山県生涯学習センターを会場に、「第1回地域創生フォーラム」を開催いたしました。これまでの連塾の歩んできた総括と、さらなる発展を願って、半年前から計画を練ってきました。内容としては、塾生による**地域創生実践活動の発表**と岡山下で人づくり・まちづくりの活動を熱心に展開しておられるNPO法人あるいは活動団体の代表者の方々による**シンポジウム**です。初めてのフォーラム開催ということで、塾生は松畑理事長を委員長とした**実行委員会**を立ち上げ、半年以上の回を重ねて企画を詰めて参りました。開催日前日には、準備のために大勢が連塾に集合し、まさに「**連がり**」を実行しながら実現に至ることができました。当日は天候に恵まれ、地域創生に関心のある**100名**の皆様が参加してくださいました。塾生が総力を挙げて当日運営に関わり、第1回目の地域創生フォーラムを成功裏に終えられたことは、連塾の大きな足跡になると思います。今回の反省点や課題を生かし、次回につなげたいと考えています。

## 塾生による実践発表

(8名の塾生がそれぞれのフィールドで取り組んだ実践を発表)

### A-①「吉備文化を創出する 旧山陽道歩く会の取組」

衣笠 宏  
(連塾1期生)



◆岡山市北区奉還町から起点に、旧山陽道を西へ東へと襷をつないで歩き、人・歴史・自然をつなぐ取組

### A-②「笠岡島づくり海社による 島のにぎわい創出」

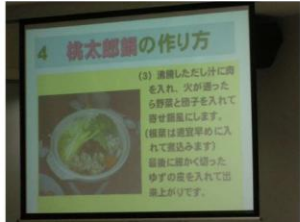
守屋 基範  
(連塾1期生)



◆瀬戸内海の笠岡諸島の活性化を目指し、空き家ツアー・島弁・大運動会など精力的な地域創生の取組

### A-③「岡山からの新しい食文化の発信！桃太郎鍋！」

川上 道子  
(連塾3期生)



◆桃太郎伝説に登場する桃太郎・鬼・犬・猿・雉などを、地産地消の食材で鍋にした創作料理の取組

### A-④「検キットを通した 森林活性化の活動」

安田 年一  
(連塾3期生)



◆岡山下の森林の保護活動を展開する中で、間伐から生まれた検をキットにして有効利用する取組

### B-①「地域を変える！ 主婦でもできる地域創生」

安藤 鈴子  
(連塾1期生)



◆さつきヶ丘パラダイスの一主婦が、「夏休み宿題お助け塾」を契機に、町内会も動かした地域づくりの取組

### B-②「地域の魅力発見！ 福谷おもしろえ〜マップ作成委員会」

田口 琢磨  
(連塾1期生)



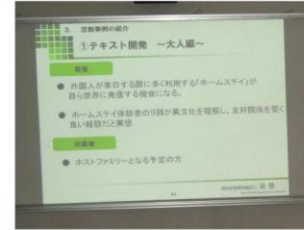
◆少子・高齢化・過疎化が進む岡山市北区福谷地区で、八十八箇所巡りなど地域の魅力を再構築する取組

## 塾生による実践発表

(A会場は2F大研修室で、B会場は1F視聴覚室にて行いました)

### B-③「英語教育一貫カリキュラム 開発研究に挑戦！」

木村 明美 藤井佐代子  
(連塾1期生)(連塾3期生)



◆おもちゃ王国と協働して実施した「イングリッシュ・スクウェア」など、多世代の英会話体験を推進する取組

### B-④「桜満開を目指して 児島湖花回廊の夢を！」

安藤 肇  
(連塾3期生)



◆サポーター達が児島湖周辺に河津桜の苗木を植樹して、将来的には花回廊を創り上げていく取組

## シンポジウム

塾生による実践発表の後、岡山下の人づくり・まちづくり活動団体の代表者をパネリストに、シンポジウムが開かれました。コーディネーターとパネリストの皆さんは次の通りです。

■コーディネーター…松畑照一(連塾理事長)

■パネリスト

- 景山 詳弘氏(「百楽塾」主宰、岡大名名誉教授)
- 洲脇美智子氏(「0-99おかやまおしえてネット」)
- 山本 賢昌氏(「出石をどねんかする会」代表)
- 江口 仁志氏(「きよね夢テラス」代表)

「人と人のつながりを創出するには」をテーマに、それぞれの立場で取り組まれている地域づくり・人づ

くりについて事例が語られ、まちの賑わいや人と人のつながり創出のための課題が明らかにされました。



シンポジウムの様子

## 大いに盛り上がった夜の懇親会

第1回地域創生フォーラム終了後、場所をコミュニティ・プラザ連塾に変え、多数の参加者を得て、「懇親会」が実施されました。室内はぎっしりと人で溢れ、参加者一人一人の自己紹介に始まり、地域創生についての思いを互いに語り合いました。



懇親会記念撮影

また、当日は連塾の庭にて、塾生により「桃太郎鍋」が作られ、懇親会参加した皆さん方にふるまわれました。このために、塾生は前日から材料切りの準備に取りかかり、だし汁や餅は連塾4期生・平井さん(名玄)にご協力いただき、美味しい桃太郎鍋が出来上がりました。これを味わいながら、遅くまで語り合い、塾生と一般参加者との交流・親睦が一段と深まりました。



桃太郎鍋一杯

現在、連塾第6期生、健塾第5期生を募集しています。お知り合いの方々にどうぞお勧めください！

## 山陽新聞社説「滴一滴」より

「第1回地域創生フォーラム」が地元紙山陽新聞にて、取り上げられ、その取組が高く評価されました。

<2009年12月10日付け記事> **滴一滴**

忘れられた歴史に光を当てる人たちがいる。新しい食文化に挑戦するグループや森林再生に知恵を絞る人も。地域をよくしたいという人たちの集まりは熱気があつた。岡山を拠点にまちづくりのリーダー養成を目指すNPO法人連塾(理事長・松畑照一)中国学園大学長が来年3月の創設5周年を控えて、第1回地域創生フォーラムを開いた。塾生たちの実践報告を中心に地域活性化を語り合った。発表内容は多彩だった。分科会の名前を見ても「旧山陽道歩く会の取組」「地域を変える！ 創出するには」をテーマにシンポジウムも行われた。会場は岡山市の生涯学習センター。塾生たちは、準備を手探りで進めたという。多くの人が参加してくれるか心配したが、杞憂に終わった。約110人で盛り上がり、活発な意見交換が繰り返された。▼まちづくりは人づくりと言われる。リーダーだけでなく、大勢の協力が欠かせない。輪が広がらず、孤立感を深めるリーダーの現実がある。熱意だけで活動は長続きしない。ともに悩み、課題解決に向けての支え合いが大切だ。▼参加者の1人が言っていた。「3人寄れば文殊の知恵」ということわざがある。これだけ多くの人が手を結べば何でもできる。